

【 山陰インバウンドニュース 9月号 】

令和 4 年 9 月 2 9 日

(一社) 山陰インバウンド機構

山陰インバウンドセミナー くにびきメッセで“特別講演”を開催

当機構では、1か月に1回程度オンラインで事業者向けの観光セミナーを実施しているところですが、9月16日（金）13:30～15:00 くにびきメッセ（松江市内）にて、島根県にご縁のある米村 猛さま（前近畿経済産業局長、元観光庁観光地域振興部長、元島根県警本部長）を山陰にお迎えし、2020年1月以降、2年8か月ぶりの現地開催をいたしました（オンラインでも同時開催）。

会場の参加者は行政、観光業に限らず、建設業関係者、交通事業者、新聞広告を見て講演に興味を持った一般申込者等、多種多様な業種の方に聴講いただきました。

米村さまの講演は、『全国を元気にするための「2025年大阪・関西万博」～山陰から考える～』というタイトルのもと、大阪・関西万博の準備状況のほか、2025年に限らず、その後も持続するよう、地域ブランドの確立が必要であるとお話され、石見神楽、トロッコ列車、妖怪など、具体的なコンテンツの例をあげ、山陰がいかにか魅力にあふれているのかを伝えられました。また、それらについて、唯一無二の誘客コンテンツとして価値を高め、活用していく重要さをお話いただきました。質疑応答では、今からできることとして、情報収集の大切さのアドバイスをいただきました。参加した聴講者からは「具体的でわかりやすい講演であった」と好評の声をいただいたほか、「2025年はあつという間に来る」という焦りの声や、「大阪、関西圏域だけの話と思っていたので、視点が変わった」等、ご意見をいただきました。



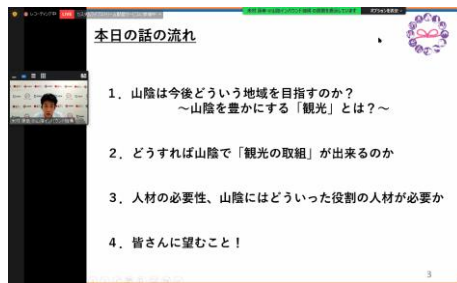
2022年 山陰ツーリズム人材育成塾 いよいよ始動

国立大学法人島根大学と連携し、実施する観光中核人材育成事業『山陰ツーリズム人材育成塾』の開講式が9月20日（火）18:00より開催されました。当日は服部学長と当機構の福井代表理事より、地域の中核人材の重要性を伝えた上で、塾生に対する激励の言葉が送られました。また、実施事業者となる㈱ARKカンパニー 赤藤代表取締役より、事業内容やカリキュラムを説明し、今年度参加する塾生15名を紹介しました。

開講式後は当機構マネジメント部長 米村が講師となり、知識習得講座（90分）を実施。『「観光」とは何か？～地方を豊かにする「観光」と求められる観光人材について～』という表題のもと、“観光の本質”、“三方よし”の観光の取組や“観光マーケティング”の重要性、“観光中核人材の必要性”について話しました。また、過去に人材育成事業に参加した大山参道ホテル 頂の小谷さま、(一社) 益田市観光協会の仲田さまを交え、人材育成に関する意見交換を行いました。また講座はYouTube Liveにて事前登録者へ広く公開しました。その後、塾生は自己紹介とともにこの塾に対する意気込みを共有し、9月20日のプログラムは終了しました。塾生は約半年の間、知識習得講座、グループワーク（ゼミ、視察等）のプログラムを経て、個々の課題の解決、企画等の実現を目指します。

なお、今後の知識習得講座も公開予定です。詳しくは下記ページをご覧ください。

https://www.shimane-u.ac.jp/education/school_info/edu_programs/edu_program09.html



各種出展状況紹介

■8月18日～21日 香港国際旅行展示会 (ITE2022)

アクティブで親日家の多い香港市場は、早期のインバウンド再開が期待される重要な市場となっています。その香港において、最大規模の旅行展示会 (ITE) が開催され、当機構も「ジャパン旅ゾーン」にブースを設置。DAJP の PR も含め、山陰の魅力について情報発信を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策の観点より、今回は現地スタッフにより山陰の紹介、DAJP の紹介・ダウンロードの促進などを行いました。多くの方にブースに立ち寄りいただき、送付した山陰のパンフレットは最終日にはなくなり、4日間で約600名にダウンロードしていただきました。



【The36th International Travel Expo(ITE2022)】 【第36回香港国際旅行展示会】

日時：8月18日(木)～8月21日(日) 10:00～18:00

18～19日 業界日 20～21日 一般日

※20日 ～19:00、21日 ～17:00

会場：Hon kong Convention&Exhibition Center ホール 3D～3E
香港コンベンション&エキシビションセンター

出展団体数：107 団体 (71%が香港外からの出展)

来場者数：業界関係者 2,752 人、一般来場者：31,098 人

出展参加国：32ヶ国・地域



■ Discover Another Japan PASS (DAJP) 販売キャンペーン実施

首都圏にて開催される鳥取・島根の主なイベントへ参加し、山陰インバウンド機構のブースを設けて、在住外国人に対する DAJP のキャンペーンを展開。

鳥取：9月14日～19日 Popup Showroom イベント『ウェルカニ鳥取』で DAJP 販売イベント

旬を迎える紅ズワイガニにフォーカスをあて、首都圏で鳥取の魅力を発信するイベント。当日会場では、紅ズワイガニのリゾットや梨を使ったスイーツなど、期間限定のオリジナルメニューや鳥取県産品が数多く並びました。当機構は2Fで DAJP の販売キャンペーンを実施 (パスが無料または半額になる抽選会 等)、当日は天候に恵まれませんでした。立ち寄った方は熱心に DAJP の説明を聞き、抽選で無料を引き当てた方もおられました。

日時：9月14日(水)～19日(月)

11:00～19:00 (2F イベント会場は 18:00 まで)

※「DAJP」販売キャンペーンは、17～19日の3日間実施。

場所：八芳園ポップアップショールーム「MuSuBu」1F、2F
(東京都港区白金台)



島根：10月22日～23日(参加予定) SHIBUYA CAST GARDEN

首都圏の若年層をターゲットに、全国の神々が出雲に集まる神在月に出雲の更なるイメージアップを図り、誘客につなげるため、渋谷区と島根県出雲市が協力し、出雲市の物産、食、観光等の魅力を発信するイベントを開催。

当機構も、首都圏の在住外国人をターゲットに DAJP のキャンペーンを実施。DAJP の魅力発信に努めます。ぜひお越しください。また、首都圏の在住外国人の方々にご紹介をお願いします。

【イベント情報】

日時：10月22日(土)～23日(日) 全2日間 22日 11:00～17:00、23日 10:00～15:00

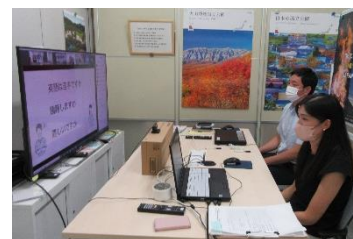
場所：渋谷キャスト (東京都渋谷区渋谷 1-23-21)

内容：

- ・物産・食のPR (出雲ぜんざい、出雲そば、日本酒 等)
- ・出雲の観光PRコーナー (お笑い芸人“ネルソンズ”によるPR、島根県観光キャラクター「しまねっこ」によるPR) 等
- ・在住外国人向け「DAJP」PRコーナー (Pass 無料 or 半額抽選会 等)

令和4年度 地域の観光人材のインバウンド対応能力研修 実施

当機構では観光庁と連携し、全国通訳案内士を講師とした本研修を本年2月に引き続き、9月5日(月)13:30~17:30にオンラインにて実施しました。当日は宿泊事業者や観光団体など、まさに観光現場におられる方々にご参加いただき、総勢13人が参加しました。当日は初級英語と韓国語の仕事で使える簡単な会話対応等を学び、参加者はインバウンド再開後の訪日旅行者対応に向けて懸命に取り組んでいました。なお、観光庁のHPでは、テキストや動画を公開しています。今後も当機構ではおもてなし向上のため、このような取組に積極的に手上げていきますので、今後もぜひご参加ください。



<https://www.jlicensed.com>

日韓フォトコンテスト 今年も開催

日韓フォトコンテストは、日韓間の文化交流促進と観光振興などを目的に在大韓民国日本国大使館をはじめとする日韓両国の行政機関、地方自治体、企業等が協力し、2014年から実施しています。日韓両国の魅力をテーマに、撮影した写真をオンラインで募集し、優秀作品をソウルおよび済州の会場に展示します。募集期間中に、在大韓民国日本国大使館公報文化院及び在済州日本国総領事館が運営する公式 SNS (Instagram、フェイスブック、ブログ等) で情報発信される予定です。当機構および鳥取県も共催しており、毎年地域の特産品や宿泊券等、魅力的な景品をご用意していますので、ぜひ奮ってご参加ください。



<https://jkphotocon.org>

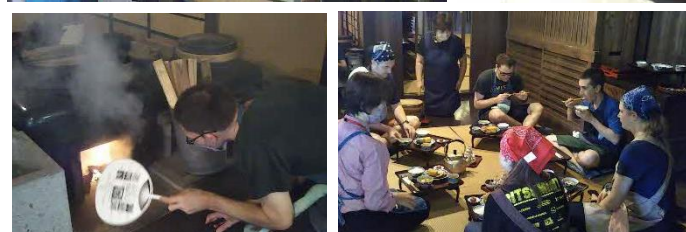
応募期間：10月3日(月)まで 結果発表：11月1日(火)

萩・石見空港を起点とした外国人モニターツアー実施(島根県)

島根県国際観光推進室では、萩・石見空港の外国人の利用促進のため、県西部の体験コンテンツを増やすことを目的に、9月2日(金)から5日(月)の間、在住外国人(欧米豪)の専門家によるモニターツアーを実施しました(5名が参加(イギリス出身者、アメリカ出身者2名、フランス出身者、オーストラリア出身者))。萩・石見空港1便で到着後、一行は津和野町へ移動。お茶体験やサイクリングを行い、翌日は益田・浜田方面へ移動。益田の朝活・豆腐づくりや浜田の機織り体験、石見神楽鑑賞を行いました。その後、風の国のグランピング(宿泊含む)体験を経て、石見銀山周辺散策から三瓶へと足を運び、さんべ縄文の森ミュージアムを見学。さんべ温泉に宿泊後、天空の朝ごはんを体験。その後、益田氏なりきり体験や高津川のカヤック、4輪バギー、酒蔵見学等、ツアー中は盛りだくさんの体験を行い、5日の萩・石見空港最終便にて帰路に向かいました。

当機構は、3日目の大田市大森町に合流。参加者は熊谷家住宅の館内説明を受けた後、かまど炊き体験にチャレンジ。昔ながらの道具を使って昼食を作る体験は、参加者もめずらしい様子で、同館のスタッフが日本の文化も含めて、道具の名称や使い方を丁寧に伝え、通訳を通じてではありますが、説明に聞き入っていました。約150分の体験という長丁場ではありましたが、途中、豆腐を手の上で均等に切るスタッフの姿に拍手が沸くなど、和気あいあいとした体験となりました。出来上がった料理に対し、参加者は、調理の大変さや料理のおいしさから感じた日本人の食文化や丁寧な暮らし等を語り合っていました。

今後、島根県は、参加者の意見を参考に、地域と一緒に体験コンテンツをブラッシュアップし、旅行商談や海外向けのOTA掲載等につなげ、萩・石見空港の利用促進を行うとのことです。



参加者の様子 当日のメニュー(かまどで炊いた炊き立てのご飯、地元野菜を使った味噌汁、七輪を使った焼野菜)

アリス・ゴードンカーさん 出雲キルト美術館企画展 ガイドツアー実施

9月17日(土)に出雲キルト美術館にて、山陰インバウンドアドバイザーのアリス・ゴードンカーさんが英語による無料ガイドツアーを実施しました。当日在住外国人の参加者は14人。首都圏からの参加者もおられ、出身はアメリカ、イギリス等様々で、不思議で精巧なキルトの世界を楽しんでいました。本企画はアリスさんとキルト作家の八幡垣睦子さんが企画したもので、当日は現在の企画展『麗しき日本の山々』展「富士山から大山まで」をアリスさんが英語で解説。参加者からは、『作品に糊は使われているのか』や『松の模様はどのように作られているのか』など、作品づくりに関する質問が多く、アリスさんの通訳のもと、八幡垣さんが詳しく説明しました。制作の裏側を知った参加者は、美しい作品と丁寧な手仕事にとっても驚いていました。その後、キルトのコースター制作のワークショップに参加した方もおられ、『作ったものがお土産になるのがとてもうれしい』と満足そうな表情で語っていました。また、参加者には雲南地域の英語ガイドも勉強のため参加していました。その他、ミュージアムカフェでは9月17日限定の秋をモチーフにしたお茶菓子の販売がありました。取材スタッフもいただき、一足早い秋を感じることができました。秋季企画展は11月29日まで実施しており、館内では日本の雄大な山々に焦点を当て、日本の象徴「富士山」から、古くから庶民の山岳信仰の対象でもあった「大山(おおやま)」を中心に、



麗しく美しい山々の布作品が展示されています。築200年の出雲様式の屋敷の中で見る、季節を感じる美しいキルトアートをぜひご体感ください。

<http://www.yawatagaki.com/index2.html>

その他のお知らせ

★ 外国人受入のためのマニュアル等関連素材集の紹介：鳥取県

外国人観光客との円滑なコミュニケーションや宿泊施設で安全安心に過ごしていただくためのピクトグラム等、全国各地が作成し、公開しています。鳥取県では、両県でも使える全国各地の外国人おもてなしのための便利なサイトを集約し、事業者向けに公開しています。今後の水際対策の緩和による外国人観光客の来県を見据え、ぜひこの機会にご活用ください。

【掲載項目】 ※一部を紹介

トイレの使い方のピクトグラム(多言語案内表示)、館内サインPOPサンプル、外国人コミュニケーションシート(指差しコミュニケーションシート)、外国人観光客接遇マニュアル、災害時多言語表示シート、災害時用ピクトグラム 等

<https://www.pref.tottori.lg.jp/280792.htm>



観光関連統計等

山陰への外国人延べ宿泊者数 ※観光庁宿泊旅行統計調査(従業員10人未満の施設を含む)

期間	山陰への外国人宿泊者数(鳥取/島根)	比較
2022年6月	2,020人泊(鳥取1,410人/島根610人)	(2021年6月)2,830人泊 (2020年6月)1,150人泊
【参考】日本全体の現状(2022年6月)(速報値)	379,300人泊 ※観光庁宿泊旅行統計調査 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html	(2021年6月)244,920人泊 (2020年6月)179,240人泊